

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	10 05 02	中期総合計画主要施策番号	1-06	担当課	部・課	建設部 河川課	
事業名	河川愛護活動支援事業				内 線	3435	
					E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S45 ~	根拠法令等	河川法、長野県水環境保全条例				
実施方法	直接実施					国庫・ 県単	県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	河川愛護活動・アダプトプログラム活動等を通じて、河川の維持管理・環境保全への住民の参加と協働を推進する。
	対象	指定区間の一級河川における各種団体のよる河川愛護活動、アダプトプログラム活動
	目指すべき姿	住民と連携、協働し、河川の美化、アレチウリ等の特定外来生物の駆除活動を行い、河川環境の保全を図るとともに、河川に対する愛護意識の向上を目指す。
	事業内容	・地域の河川愛護団体による河川の清掃美化活動を支援 ・県と協定を締結した団体による河川の清掃美化、外来植物(アレチウリ)駆除活動を支援

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・報酬費:30,000千円 ・需用費:1,228千円 ・役務費:598千円
	最終予算額 (A)	千円	32,321	32,265	33,032	
	決算額 (B)	千円	32,108	31,826		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	31,141	31,103	31,920	
	概算人件費	人	0.38	0.38	0.38	
	概算人件費 (C)	千円	3,178	3,138	3,138	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	35,286	34,964	36,170	
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・HP等での広報により、近年環境への影響が懸念されているアレチウリ等外来植物の駆除も目的に、新たな住民団体や企業等各種団体の参加に向け取り組んでいる。  (効率指標 算出式) 概算事業費 ÷ 団体数
	活動河川数(活)	河川	438	455	455	
	活動団体数(活)	団体	932	941	941	
	活動のべ人数(活)	人	188,373	182,094	182,094	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 一団体当たりコスト	千円/団体	37.9	37.2	38.4	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	・廃棄物の不法投棄を減少させる。 ・活動する河川愛護団体数および対象河川を増加させる。	・河川一斉パトロール等によって回収された不法投棄物の量について、ここ数年、大幅な増加は見られない。 ・参加延べ人数は減少したが、活動参加団体が9団体増加し、実施河川が17河川増えた。	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・河川内の支障木やアレチウリ等の外来植物等の生息は拡大、繁茂しており、生態系をはじめ、河川環境への影響が懸念され、事業ニーズは高い。 ・参加団体のボランティア活動により実施している事業であり、県は事務局運営と傷害保険への加入等必要最小限の支援を行っている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	河川愛護活動の普及拡大を図るとともに、すでに実施している河川愛護活動においても外来植物の駆除に取り組めるように支援していくことが引き続き必要である。
	特記事項	H22年度信州型事業仕分け実施事業 河川愛護活動事業と河川アダプトプログラム事業の2本立てであったものを、ワーキンググループでの検討や関係団体のアンケート結果等を踏まえて、河川愛護活動支援事業として一本化を図り、平成24年度から実施。